

日時： 2019年3月5日(火) 10時00分～13時40分

場所： 国際文献社江戸川橋会議室

出席理事：久保英也(会長)、村山武彦(副会長、事務局長)、李泰榮(Skype参加)、上野雄史(Skype参加)、小野恭子(Skype参加)、大沼進(Skype参加)、神田玲子、岸本充生、竹田宜人、藤井健吉(Skype参加)、米田稔

出席監事：片谷教孝

1. 理事会の成立

久保会長より理事の過半数の出席を得て理事会が成立することが宣言された。

2. 前回議事録の確認

久保会長より議事録案の説明があり、承認された。

3. 報告事項

(1) 会員の異動および会費納入状況

村山事務局長より書面に基づき報告があった。今後、シニアレベルの新たな会員種別を検討することになった。

(2) 委員会等の活動

1) 編集委員会

米田理事より、書面に基づき学会誌への投稿・審査状況、学会誌の出版計画、論文データベースへの登録に向けた検討状況について報告があった。論文データベースへの登録に関連して作成する学会誌の編集方針については、投稿者の特性を考慮した内容とすることを確認した。

2) 情報管理委員会

李理事より、書面に基づき学会ウェブサイトへ掲載を予定している過去の年次大会、春季シンポジウム等の内容について報告があった。シンポジウム関係は、春季シンポジウムとそれ以外の本学会が主として関わったそれ以外の会合に分けて整理し、不明分についてはMMを通じて会員に情報提供を依頼することを確認した。

3) リスクマネージャ委員会

竹田理事より、書面に基づき報告があった。「リスク学事典をコンテンツとした研修・資格制度」について議論し、書籍の電子化の可能性について出版社に打診すること、また大学等の施設におけるE-learning 施設の利用可能性とコンテンツ作成を外注した場合の経費について検討することなどが確認された。さらに、現在のリスクマネージャの更新時期に入っており、相当程度の減員になる予定であるという報告があった。

4) 表彰委員会

神田理事より、書面に基づき報告があった。大会優秀発表賞の扱いについて議論した結果、対象はポスターのみとすること、選考の対象は当日の対応も含めて行うこと、投票は一般参加者にも依頼するが扱いについては表彰委員会で議論すること、本学会で過去に受賞した会員も基本的には制限なく受賞の対象とすることが確認された。

5) 国際委員会

藤井理事、小野理事より、書面にに基づき報告があった。5月のWorld Congress on Riskにおける報告に向けて、リスク学事典の目次の英語版を整理し、共有化することを確認した。

6) 『リスク学事典』の編集状況

久保会長より書面にに基づき、進捗状況について報告があった。執筆者全員に進捗状況を連絡する手段、予約販売の可能性などについて議論があった。

4. 審議事項

1) 学会誌の電子ジャーナル化の検討

小野理事より、書面にに基づき説明があった。会員向けの案内文については、意見聴取の形をとること、オンデマンドによる印刷手段を確保すること、最新号から一般公開するフリージャーナル化を進めることなどを含めて検討し、3月中に会員向けに発信することとなった。

2) 国内学会の名称変更の検討

久保会長より、書面にに基づき変更の趣旨の説明があり、村山事務局長から変更手続きに伴う諸作業や諸経費の見積もりについて説明があった。議論の結果、趣旨にはリスク学事典との関係をより示すなど修正のうえ、3月中に会員に検討方針を発信し、その結果を考慮して6月の定期総会に諮るかどうか判断することとなった。また、来年度の早い時期に東京や大阪などで意見交換会の場を設けるといふ意見も出された。

3) 2019年度春季シンポの検討

藤井理事から書面により情報提供があった安全工学シンポジウムと連携して行うことが確認され、本学会の春季シンポジウムでは主として編集メンバーや執筆者以外の事典の利用者との議論を中心にするという意見が出され、今後具体化することとなった。

4) その他

リスク学事典の出版時期に合わせた情報提供機会について検討すべきとの意見があり、環境放射能除染学会をはじめとする他学会での企画、地域でのイベントの検討などについて議論があり、今後検討を進めることとなった。

また、次回の理事会日程は、5月20日の週で調整することとなった。

以上

議事録署名人 (署名)

印

議事録署名人 (署名)

印